

拝啓

明けましておめでとうございます。良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。1月号をお届けいたします。

内村先生の「続一日一生」1月1日のところに、「はじめに神天地を作りたまえりという。宇宙にはじめがあった。…造化はある的確な目的を持ってなされたる最大努力の事業である。神が宇宙を作りたもうたのである。ゆえにそれが失敗に終わりようはずがない。…あたらしき天と新しき地とが現われて義がそのうちにおこなわるるにいたらねばならぬ。聖書の劈頭第1の語にそのすべての約束と人類の希望とが含まれている。」と雄大な文章がありました。

この正月休み、私が前から書いております「南原繁と戦後教育改革」という本の仕上げに没頭いたしまして、何とか書き上げることができました。元旦の夜コピーを2部作り、寺崎昌男先生という教育史の大先生に見て頂くところまで参りました。出版社はこれから探す事になりますが、どうか寺崎先生の審査にパスし、出版できるようお祈りください。この2年間、勤務時間後あるいは土曜、日曜の教会のあと図書館に通い、本を探し、コピーをとり、通勤電車の中で読み、空いた時間を見つけて少しずつ書き溜めるという作業をやってまいりました。忙しかった割には、山、音楽会、童謡の会、川柳の会などのレクリエーションも人並み以上に楽しんでやってきました。

よい教訓を得ましたのは、夏休みとか、正月休みを除いて、勉強をするのにまとまった時間など無い、小さな細切れの時間を集めて有効に使う以外はないということでした。また、同じ時間でも、能率が何倍も違う時間があるということがわかりました。私には、朝が夜の3倍ぐらい能率が上る時間だと判りました。

日野原先生が、毎日4~5時間、あるいは3時間ぐらいの睡眠でやっておられるということも参考になりました。わたしも4~5時間の睡眠で大丈夫だとわかりました。

スボルジョンの「朝ごとに」からの引用は、今月で終わりにします。非常に霊的な(=祈りを重要視する)牧師であると思いました。

来月からは、カウマン夫人の「山頂を目指して」からの引用を致します。

昨年4月9日の小西芳之助先生記念会の記録を、同志会会報に寄稿いたしました。校正刷りが送られてきましたので、ご覧いただければ幸いです。

それでは、皆様も今年もどうぞよろしくお願い致します。

敬具

平成18年1月2日

山口周三

エンカウンターの読者各位